

国指定 天然記念物

堅田郷八幡社のハナガガシ林



ハナガガシは、九州・四国の一部に産するブナ科の高木で、県下では本市にあるこの「堅田郷八幡社のハナガガシ林」と県指定天然記念物「八坂神社のハナガガシ林」の2つが知られている。ハナガガシ林は、周囲1.5km、標高57mの丘陵にある神社林で、ハナガガシ、スタジイなどに覆われ、ハナガガシがこの林分の主要な構成種となっており、生育も良く、数も多い。特に丘陵の西斜面に多く見られ、樹高25m、直径1m近くあるものもある。原生状態に近いこのハナガガシ林は、西南日本の平地の暖帯林の1つとして、極めて学術的価値が高い。